

頭頸部癌に対する イルミノックス治療

頭頸部外科部

イルミノックス治療とは？

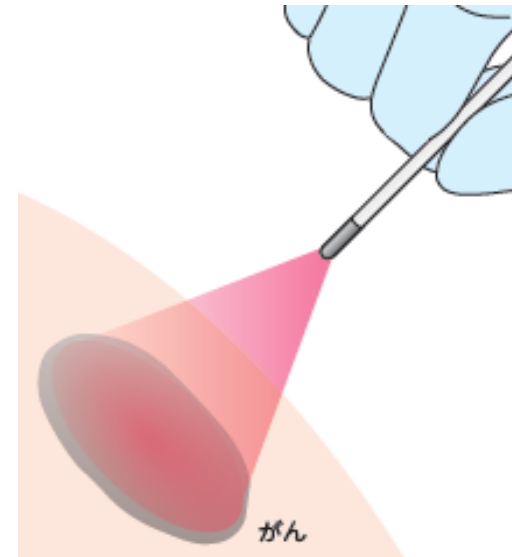
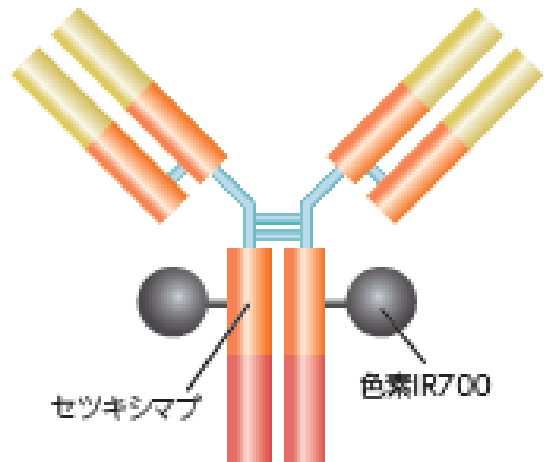
米国国立がん研究所 (NCI) の

小林久隆 先生が開発した



「**がん光免疫療法**」を基に

発展した治療です

光感受性物質 + レーザ光照射



を組み合わせた治療です

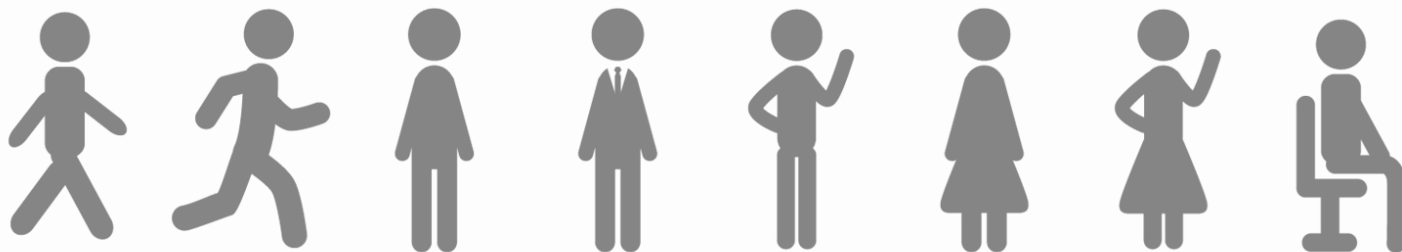


**世界に先駆けて
国内承認されました**

対象となる患者さんは？

切除不能な局所進行又は局所再発の

頭頸部がんの方



頭頸部がんとは？

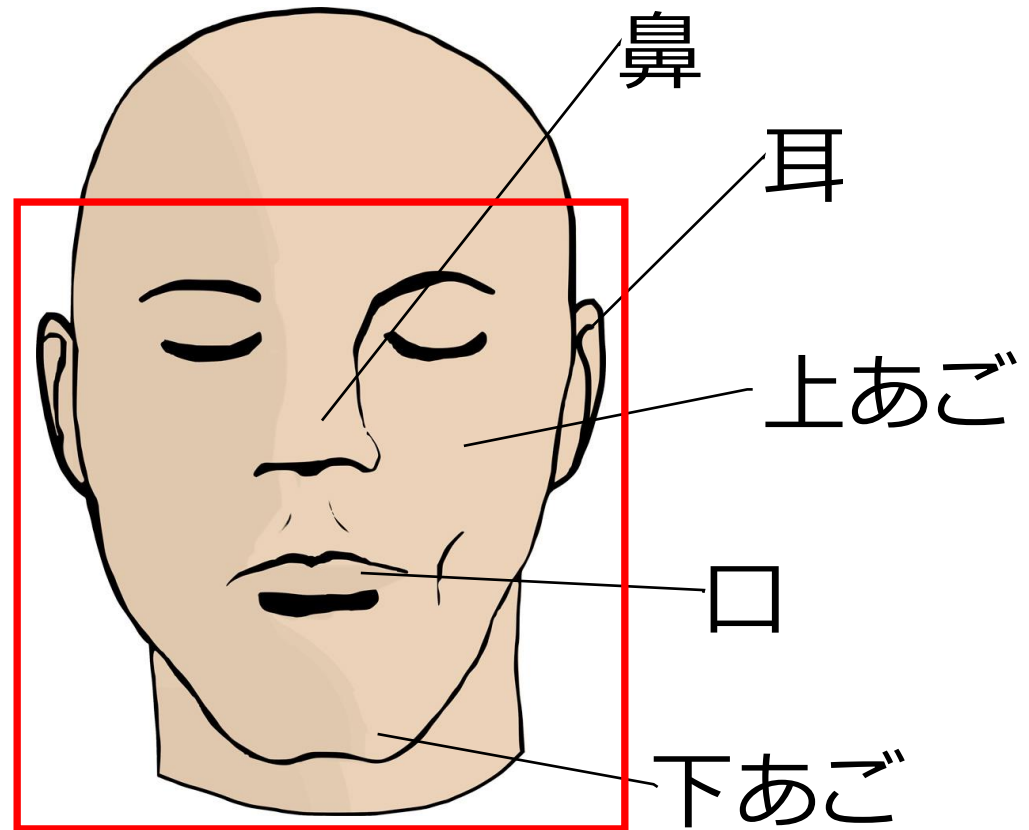
簡単に言うと

「顔面 (かお)」

から

「頸部 (くび)」

のがんです



切除不能な局所進行又は局所再発の

頭頸部がんの**治療法**

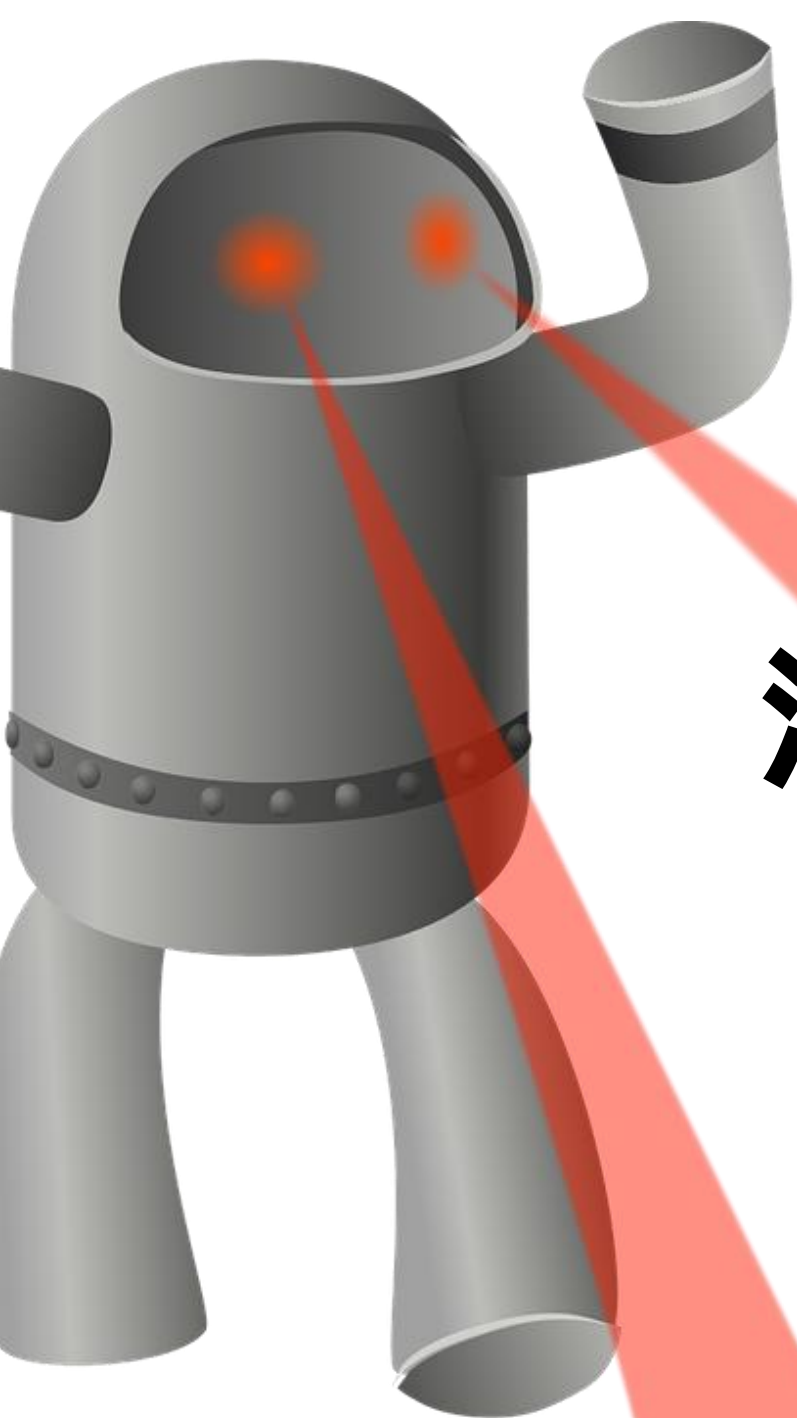
これまでは

放射線治療 や **抗がん剤治療** が中心

2021年1月からは

イルミノックス治療

という選択肢が増えます



治療のしくみ

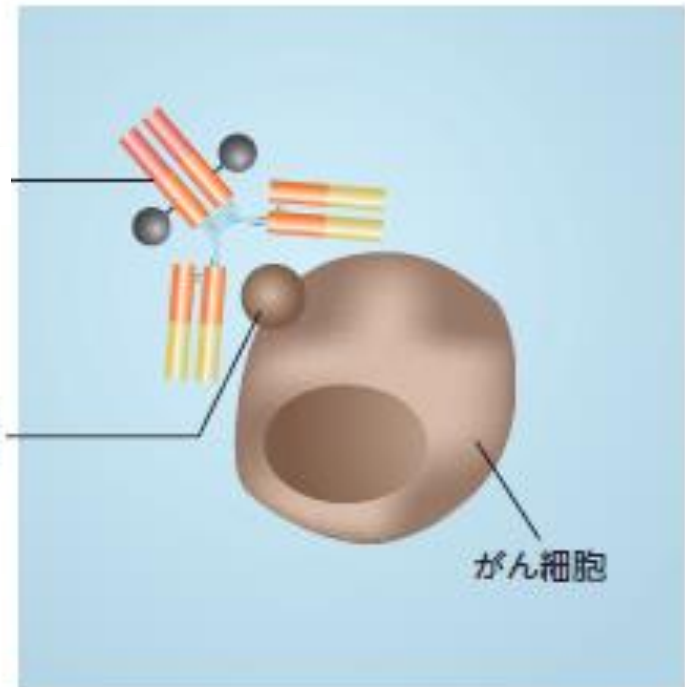
① EGFRに光感受性物質が結合

がんの表面に発現するEGFR（上皮成長因子受容体）に点滴投与された光感受性物質が結合



光感受性物質

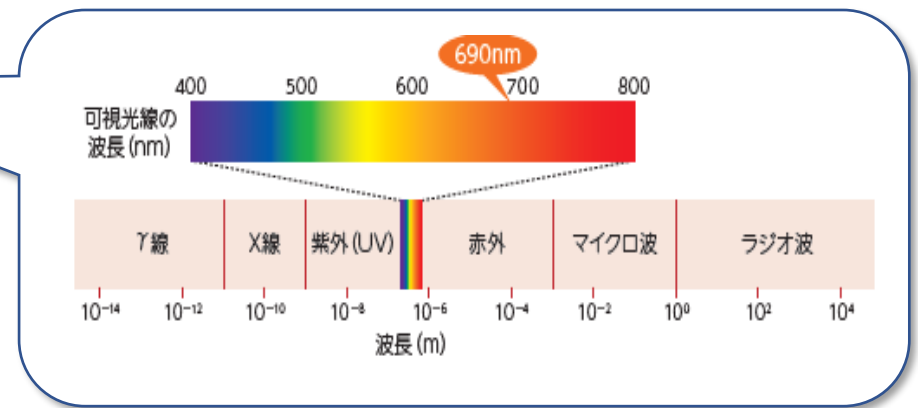
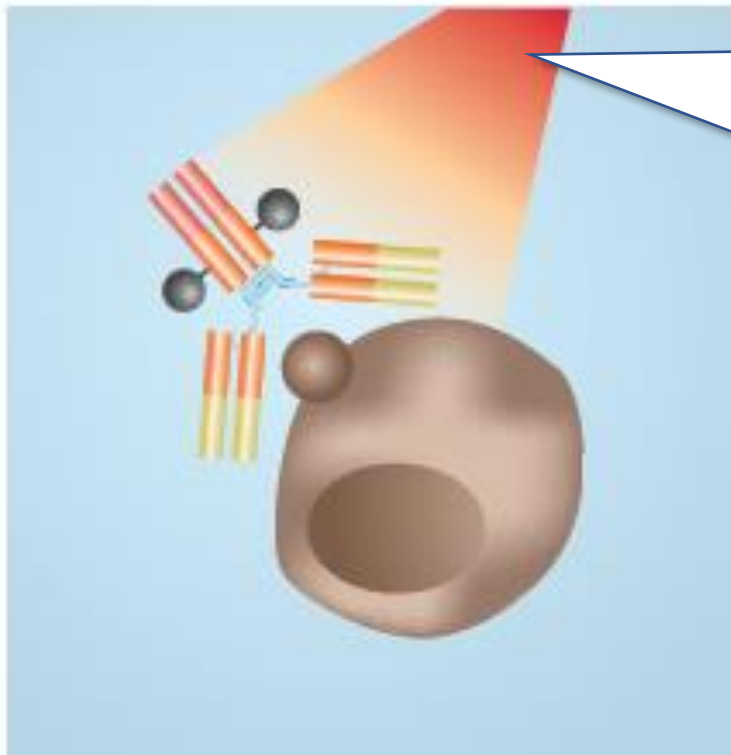
タンパク質
(EGFR)



がん細胞

② レーザ光により色素が反応

光感受性物質が結合したがん細胞にレーザー光をあてると色素が反応



③ がん細胞が死滅

がん細胞の細胞膜が破壊され、がん細胞が死滅

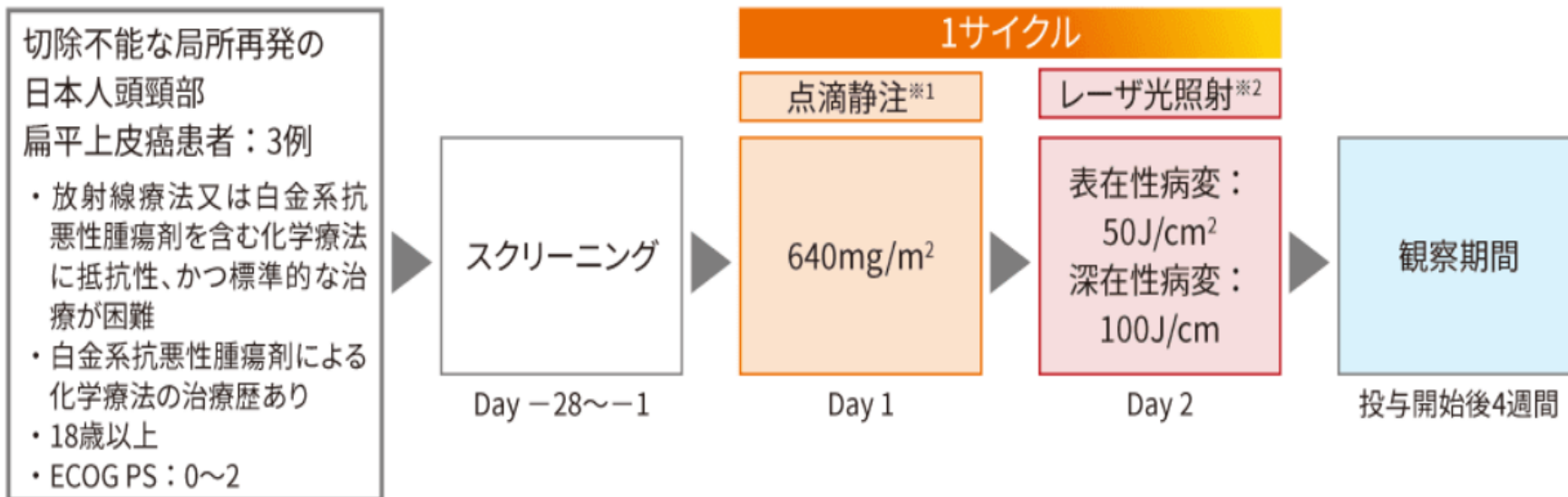


臨床試験の 成績



RM-1929-102試験 (国内第 I 相試験*)

イルミノックス治療



*第 I 相試験：安全性を確認する試験

解析結果

➤ 主要評価項目：安全性

重篤な有害事象、死亡及び治療中止に至った有害事象は認めず

➤ 副次評価項目：抗腫瘍効果

3例中 2例に部分奏効（30%以上の縮小）

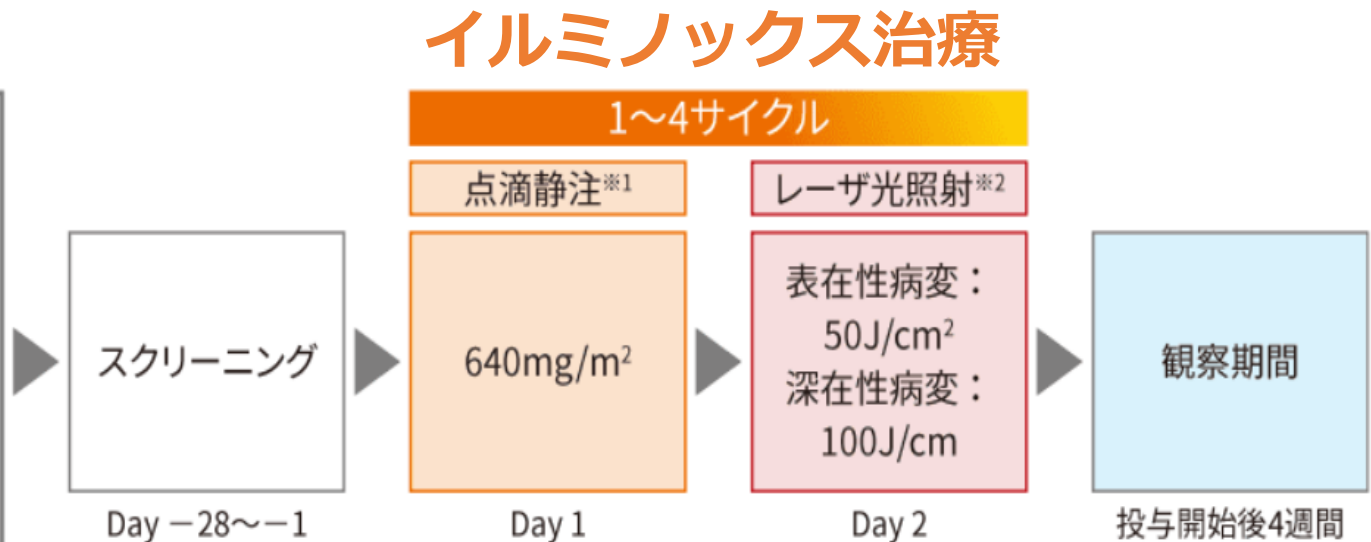
1例に病勢進行（20%以上の増加）

RM-1929-101試験 (海外第 I / II a相試験*)

II a相 part

切除不能な局所再発の
外国人頭頸部
扁平上皮癌患者：30例

- ・放射線療法又は白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法に抵抗性
- ・白金系抗悪性腫瘍剤による化学療法の治療歴あり
- ・18歳以上
- ・ECOG PS：0~2



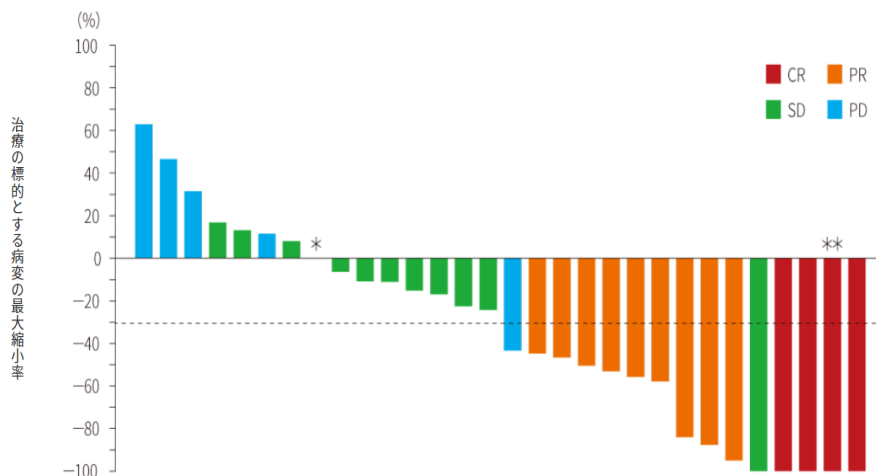
*第 II 相試験：安全性および有効性・用法・用量を調べるための試験

解析結果

➤ 主要評価項目：安全性

重篤な有害事象	13/30例
死亡に至った有害事象	3/30例 (治験治療と関連なしと判断)
治療中止に至った有害事象	5/30例

➤ 副次評価項目：抗腫瘍効果



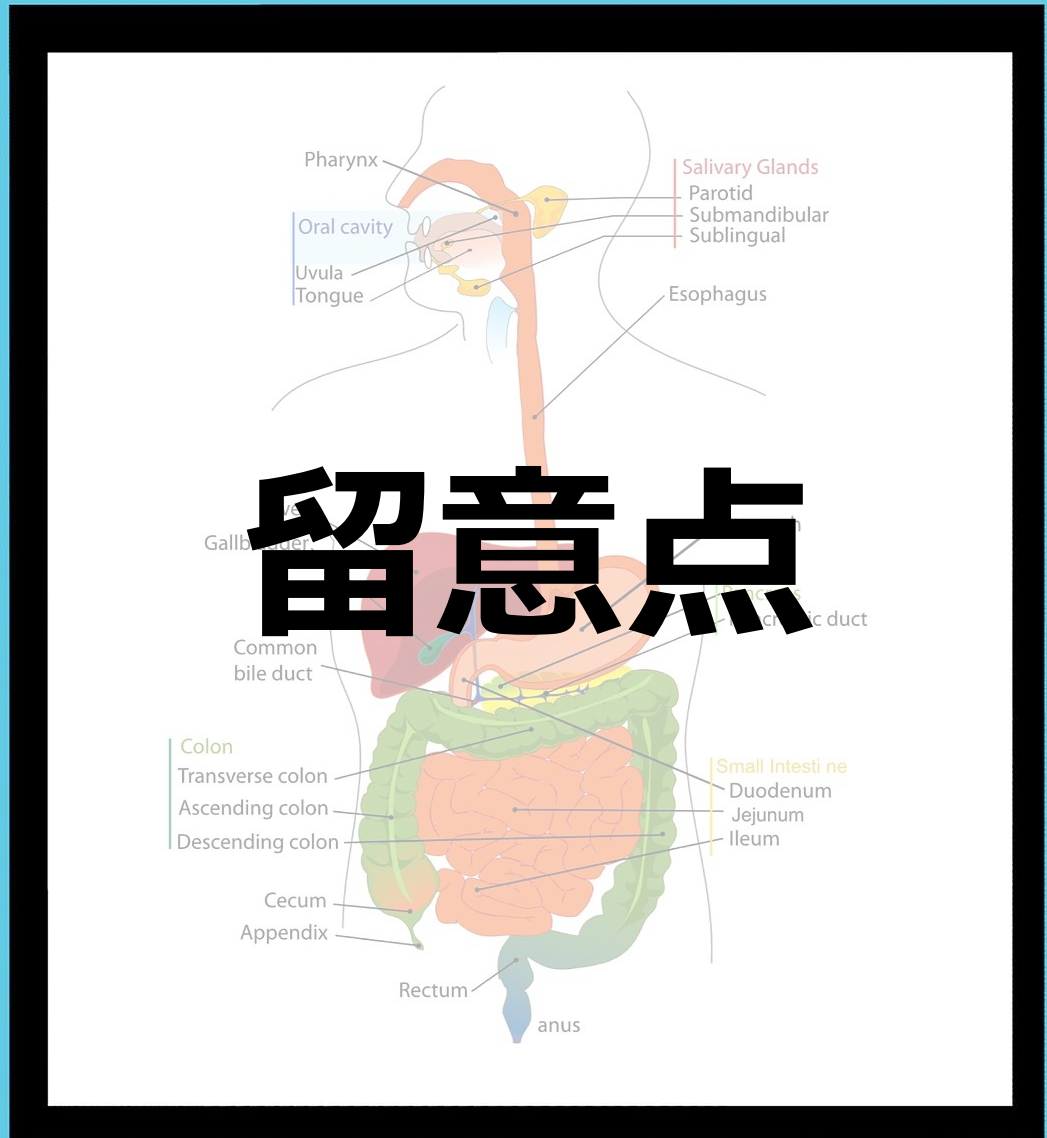
30例中

4例に完全奏効 (病変の消失)

9例に部分奏効 (30%以上の縮小)

11例で安定 (部分奏効～進行)

5例に病勢進行 (20%以上の増加)





① 基本的には
手術、放射線治療などの
標準治療が優先されます。



② 治療適応は、
有効性、安全性のバランスを
踏まえながら慎重に決定します。

1月から当院でも実施可能となります

イルミノックス治療含め頭頸部がんに関する疑問等ありましたら、遠慮なく**頭頸部外科部**へご相談ください。

